

才二回文化サークル連絡会報告レシメ

十一月六日 天時(十時)
於本校 図書室 サークル連絡会第1
回 出席サークル 教育研 文研 心理研
芝野新樹 理論社研

二、サークル文化サークル連絡会(レ)の報告
「リポート」才二回文化サークル連絡会への提言
再確認

(1) 学務自主管理(管理(管理)等)
(2) サークル連絡会を形成し、おかげで、必ず
必然性
(3) 文化サークル連絡会議の目的の有用性
(4) の提言と併進し、↓迎撃的の言葉
小グループの自己↓サークルの個性性
ローカル間の関係性

サークル員へ何々(何々)の意識、意識改革
↓ 御宿願を達成して日々表現されるサークル運動の
明瞭な地位との相対性を、中で解決して、この
意味

又(提言)サークル、個性性を踏まえた、何々のサー
クル(提言)

連絡会議の旨、
サークル会談(各)
サークル関係の文友
ワ運斗(左)
活動家、同様の集団

サークル活動 五
連絡会議 五
サークル関係の文友
ワ運斗(左)
活動家、同様の集団

サークル活動 五
連絡会議 五
サークル関係の文友
ワ運斗(左)
活動家、同様の集団

サークル活動 五
連絡会議 五
サークル関係の文友
ワ運斗(左)
活動家、同様の集団

サークル活動 五
連絡会議 五
サークル関係の文友
ワ運斗(左)
活動家、同様の集団

サークル活動 五
連絡会議 五
サークル関係の文友
ワ運斗(左)
活動家、同様の集団

サークル活動 五
連絡会議 五
サークル関係の文友
ワ運斗(左)
活動家、同様の集団

サークル活動 五
連絡会議 五
サークル関係の文友
ワ運斗(左)
活動家、同様の集団

サークル活動 五
連絡会議 五
サークル関係の文友
ワ運斗(左)
活動家、同様の集団

教職課程履修者友何々(何々)年次による活動
三木の七、自宅から、才二回(提言)
「教師から教職斗争に向けての提言」
教職斗争、教育の本質的問題として認識せ
。教職斗争を、提言、教職斗争、連絡会議への提言
。才二回(提言)三木の七、自宅から、
。レポート(提言)「提言」
。教師(提言)

サークル連絡会議の教職履修者への教職斗争
今議への提言、各提言の提言
。サークル連絡会議の教職履修者への教職斗争
。各提言(提言)「提言」
。教師(提言)

(理論社研)「ワ運斗」提言を踏まえ、教職斗争
連絡会議、才二回(提言)「提言」
。サークル連絡会議の教職履修者への教職斗争
。各提言(提言)「提言」
。教師(提言)

ワ運斗、才二回(提言)「提言」
。サークル連絡会議の教職履修者への教職斗争
。各提言(提言)「提言」
。教師(提言)

ワ運斗、才二回(提言)「提言」
。サークル連絡会議の教職履修者への教職斗争
。各提言(提言)「提言」
。教師(提言)

ワ運斗、才二回(提言)「提言」
。サークル連絡会議の教職履修者への教職斗争
。各提言(提言)「提言」
。教師(提言)

ワ運斗、才二回(提言)「提言」
。サークル連絡会議の教職履修者への教職斗争
。各提言(提言)「提言」
。教師(提言)

ワ運斗、才二回(提言)「提言」
。サークル連絡会議の教職履修者への教職斗争
。各提言(提言)「提言」
。教師(提言)

ワ運斗、才二回(提言)「提言」
。サークル連絡会議の教職履修者への教職斗争
。各提言(提言)「提言」
。教師(提言)

ワ運斗、才二回(提言)「提言」
。サークル連絡会議の教職履修者への教職斗争
。各提言(提言)「提言」
。教師(提言)

ワ運斗、才二回(提言)「提言」
。サークル連絡会議の教職履修者への教職斗争
。各提言(提言)「提言」
。教師(提言)

ワ運斗、才二回(提言)「提言」
。サークル連絡会議の教職履修者への教職斗争
。各提言(提言)「提言」
。教師(提言)

ワ運斗、才二回(提言)「提言」
。サークル連絡会議の教職履修者への教職斗争
。各提言(提言)「提言」
。教師(提言)

ワ運斗、才二回(提言)「提言」
。サークル連絡会議の教職履修者への教職斗争
。各提言(提言)「提言」
。教師(提言)

102
(英字新聞) - アリント

自己の主体的立場の確立
自衛的・安住的・保守的の確立
書き手読者の分業の主体的立場
MレP斗争の重みと英字新聞の三体制
リーナリズムの問題性
(現在)
サークル内での個別ゼミの設定
サークル員意識の明確化

(MCA)

近期中にプリント化(確約)
「イエズスの原像を主体的にいかんか」受けてみるか
コルクス・ヘーゲル法を批判し
観念の問題
宗教における人間観念(対「イエズスの原像」
観念を生み出す社会の問題)

三サークル内討論

(フラ研)

「扶大MレP」文化サークル連絡会議の關係
「扶大MレP」MレP斗争を主軸とする問題
文化サークル連絡会議文化運動を主体に
サークル運動の主体的
発展

(教研)

文化サークル連絡会議と文連
↓形式的文連の實質的立場
文連 ↓ ↓ セクト的抑圧
↑から思考
今年 ↓ 文身・文連
↑発展

(文研)

×「サークル連絡会議」と「サークル」の關係性
↓連絡会議の質 ↓ サークル
↓文化創造と行

(フラ研)

文化創造

(A) 反日常性への内面外面としての斗争
(B) どちらでも文化創造は可能か
「通」
「通」
「通」
↓不満と希望の対立

(理論社研)

文化創造
↓日常性打破は斗争を通じてのみ可能
生活過程を通じての打破 ↓ 文化創造
サークル解体を叫びながら實質的に進行
できず、観念的左翼サークルの存在とは?
あるいはサークルを止揚して、実体は上
からの解体ではなく、自己の内なる解体
の深化にかかわるかは?

四「確認」

。教職斗争への主体的かかわり
。各サークル・個別問題の文章化提示
。学館自主管理運動の推進

△連絡場所

本校・明大新聞ボックス
TEL (三三三) 五八二内線 四〇九
文化サークル連絡会議
和泉・旧学館由
理論社会学部学友会
文化サークル連絡会議和泉支部
M F M